

第1回 西脇給食センター運営方式検討委員会 議事録

日 時：平成30年7月2日(月) 10:30～11:45

場 所：西脇市生涯まちづくりセンター2階 第2会議室

出席者：12名（別紙名簿参照）

欠席者：1名（白川委員）

事務局：6名（教育長、教育部長、教育総務課長、教育総務課主幹兼学校給食センター所長、教育総務課教育総務担当主査兼給食センター主査、学校給食センター栄養教諭）

傍聴者：0名

1 開 会 ※進行事務局

<事務局>

西脇市立学校給食センター運営方式検討委員会条例第7条第2項に規定する過半数の出席のため会議成立する旨を説明

2 委嘱状の交付

（浅野良一教授代表授与）

3 教育長あいさつ

（教育長あいさつ）

4 委員紹介

（名簿順に自己紹介、事務局自己紹介）

5 概要説明

<事務局>

資料1-1、資料1-2を用いて会議の運営等について説明

6 協 議

委員長・副委員長の選出

<事務局>

条例第6条第2項説明し、互選により委員長、副委員長選出

委員長：萬浪三郎 氏、副委員長：浅野良一 氏

7 諮 問

教育長から委員長へ諮問

8 議 事

※委員長による議事進行

(1) 委員会スケジュールについて

<事務局>

別紙スケジュール案について説明

<委員長>

事務局から委員会スケジュールについての説明があったが何か質問はないか。

特にないようなので、事務局案で進めていく。

(2) 給食センターの概要等について

<事務局>

資料により「給食センターの概要」について説明

<委員長>

委員の方から何か質問等があればお願いします。

<副委員長>

調理業務だけが直営で行われていたのは、特別な理由があったのか。

<事務局>

以前は配送も市の職員が行っていたが退職等で職員が減ったことで効率的な運営を考え、配送業務をシルバー人材センターに委託にした。

調理員については、これまでも正規職員が10名以上いたので、パート職員の補助を受けながら調理業務はまかなえている。

また、旧黒田庄町給食センターでは、米飯は給食センターで炊飯を行っていたが、旧西脇市給食センターでは、米飯の炊飯を行っていなかった。

統合時に敷地面積の関係もあり、米飯は旧西脇方式のまま外部委託することに決定した経緯がある。

<委員長>

他に意見はないか。

<事務局>

先ほど図の中で調理業務について説明したが、図の上にある献立の作成とか、食材の選定、検収については、栄養教諭3名が行っている。

食材の選定については、栄養教諭と物資調達委員会で決定している。この委員会は、PTA連合会3名と消費者モニター2名の方に就任いただき、毎月1回集まり、価格だけではなく、食の安全や味も考えていただきながら給食の食材の選定をいただいている。

食材の調達については、給食センターで一括して発注している。食材の受入れ時の検収についても、栄養教諭が行っている。調理は、栄養教諭の指示のもと行っており、検査・味見も栄養教諭が行っている。

今後、こういった方式になってもこの部分は、これまで通り変わらないことを補足する。

<委員長>

他に質問はないか。

<副委員長>

失礼な質問だが、これまで西脇市・黒田庄の給食センターでは、事故はなかったのか。

<事務局>

配送業務については、小さな事故はあった。調理業務については、話題になっている異物混入については、学期ごとに十数件あるが、大きな事故にはつながっていない。

その他では、子どもたちの給食には大きな影響がなかったが、平成26年に調理員が1名「O 157」に感染し、一週間給食を止め、代替給食で対応させてもらった。調理員の回復と同時に調理業務を再開したということがあった。

<委員>

調理員さんが平成34年には、正規の職員が4名になり、今後については募集されないのか。パートさんなり増やされないのか。

<事務局>

検討委員会で、正規職員を増やして対応していく方策の意見が

あれば意見として承る。今後の効率的な運営も含めて検討願いたい。

<委員長>

他にないか。

ないようなので、(3)アンケートの内容について事務局から説明をお願いします。

(3) アンケートの内容について

<事務局>

アンケート案について、説明。

<副委員長>

アンケートについて3つある。

1つ目は、給食業務は計画・企画する業務。調理も主食と副食と2つに分かれている。配送業務がある。

西脇市の保護者は、これを知っているのか。全体像を把握していないと、答えにくいと思う。

2つ目は、アンケートとしての技術的なことであるが、問4番、5番の質問が誘導質問になっているように感じる。

例えば4番の「兵庫県内では、共同調理場を要する22市のうち9市が民間委託です。」を「兵庫県内では、共同調理場を要する22市の内13の市が直営です。」こうすると答えが変わってくる。

3つ目はせっかくアンケートをするのだから、運営方式を聞くだけで無く、今後の西脇市の給食方法について聞くこともよいのではないか。味は満足されているか、地産地消についてどう考えておられるか。など、全体を膨らませて保護者に給食について聞けばいいと思う。

<事務局>

事務局から保護者の立場でもある委員さんにお聞きしたい。給食はセンターからシルバー人材センターが配送し、ご飯とパンは業者さんから配送されている。牛乳も業者から直接配送されているが、御存知でしょうか。

(半分挙手)

<副委員長>

栄養の企画については直営を保持し、調理業務には含まれてい

ないことを説明しないと、全て投げ入れるイメージがある。

調理業務の範囲を分かるようすればいいと思う。

主食と副食が違う所から来ていることは、分かりにくいと思う。

センターから来ている副食と業者からくる主食を、一緒に配送しているのか。

<事務局>

副食はセンターから、パンとご飯は業者から直接学校に配送されている。

<副委員長>

大きな入れ物で配送されているのか。

<事務局>

パンとご飯はクラス毎に分けて入れており、牛乳も業者から直接学校に配達されている。

<委員>

問4の近隣の、明石・加古川・三木市・丹波市・多可町が委託されていることは、知らなかったのだが、民間委託されている業者は、同じ業者なのか違う業者なのか。子供たちが食べる給食なので、安心安全な給食であるとか味であるとか、実際にされている所の意見を聞きたい。

<事務局>

ここに挙げている9市が、同じ業者ではない。近隣の丹波市・多可町については同じ業者となっている。

昨年、検討委員会を立ち上げる前に、学校給食運営委員会で多可町の給食センターを視察している。西脇市と違うところは、正規職員が1名で後は嘱託職員である。丹波市については、3つの給食センターがあり正規職員が13人おられたが、他の直営に移られ調理業務を民間委託されている。

10月予定の視察につきましては、丹波市にお願いできればと思っている。栄養教諭の指導に伴い、スムーズに運営されているとお聞きしている。

また、5年経過されているので、メリット部分やデメリット部分が具体的になっているのではないかと思い、視察候補地としている。

<副委員長>

この9市は調理部分だけを、委託されているのか。主食はどうされているのか。

<事務局>

ご飯については給食センターで作られている所もある。パンは業者に委託している。

<副委員長>

9市については、主食はどうなのか。

<事務局>

全てを把握できていないが、多可町では、副食と炊飯の調理業務を給食センター内で民間委託で行っており、パンについては外部委託となっている。

<副委員長>

そこが厳密ではない。9市は調理業務を委託しているのか、主食と副食を委託業務しているのか曖昧な気がする。

コスト面で考えると主食と調理業務を委託すると、金額が大きくなり、コストカットの余地が大きくなる勉強してもらえらる。委託のタイプがご飯と副食なのか、副食だけなのかでは大きく違うと思う。

<委員>

西脇市としては委託する場合、ご飯は外部に委託という形か。

<事務局>

炊飯設備がないので、外部委託するしかない。

他市の状況については、わかる範囲で次回の委員会でお知らせしたい。

また、情報を調べて今度の委員会でお知らせして、視察先についてもこの市がいいなという事になれば意見をいただければと思う。

<副委員長>

外部に委託する場合に市役所としては、いくらコストをカットできたとしても、働いているパートさんの賃金カットになること

は問題になる。いわゆるワーキングプアを作ってしまう。委託する場合においても条件を設けて、パートさんの賃金を保障することを前提するといった文言も必要である。

<事務局>

多可町の場合は、正規職員が1名、栄養教諭・所長で他は嘱託になっている。全てではないが、ほとんどの人が業務委託した会社に就職して、仕事を続けている。もし、その方向となるのであれば、条件付けは、していかなければいけないと思う。

<委員>

話がそれるが、炊飯設備を作らなかった理由はなんだったのか。炊飯設備を作ると、外部委託するより予算がかかるのか。

<事務局>

申し訳ないが、昭和45年に共同調理方式にされた段階では炊飯は外部委託となっていたので、わからない。経緯は調べてみる。

<委員>

ご飯給食が始まったのは、私が中学1年生の時、週2回火・木がご飯給食になった。それまではパン給食だった。

想像の域になるが、ご飯給食になることで、パン屋さんが週2回は仕事がなくなるので、その収入を補償するためにこのような形になったのではないか。

西脇市の給食センターに炊飯設備がない中で、国からの推奨で、小麦粉ばかり食べないでご飯を食べようという事になって、ご飯給食になったと社会の時間に聞いたように思う。

西脇市の経過があって、外部委託になったと思う。

<副委員長>

パンとご飯は、同じ業者から仕入れているのか。

<事務局>

パンとご飯は同じ業者である。

同じ業者なので、委員が言われたようなことだと思うが、調べる。歴史的な事とか、全体がイメージできる条件を示してアンケートにしないといけないと考える。

<委員>

アンケートを出す段階だが、委託する方向で決まりなのか。

<事務局>

決まっていない。それも含めて、この委員会で決定していただくことになる

<委員>

反対が多いとこのまま直営でいくのか。

<事務局>

いろんな意見を聞かせていただいて、材料を出していく。

今の状況なら、多くの皆さんが現状を理解されていない。安心安全が最重要項目だが、長い将来を考えて効率的な費用対効果を皆さんに見ていただいて分かるような資料を出したうえで、判断をしていただきたいと思っている。

<委員>

以前に民間業者による学校給食が都市部で新たに始まったというニュースの中で、異物混入とか美味しくないとか報道されたことがあり、マイナスなイメージをもっている。

一方で公立の学校給食は安心というイメージがある。

委託になると、民間企業になる。民間企業になると、人も入れ替わるし、どこまで信頼できるのか不安な面もある。

<副委員長>

よく他市で自分の市の給食は美味しいと自慢されるが、西脇市はどうなのか。たとえば芦屋市などは、兵庫県で一番美味しいと言われている。

<事務局>

美味しい給食を作っていると考えており、子供たちからも好評である。

<委員>

自分の子どもが給食になってから、家でも野菜を食べるようになった。給食センターに見学に行った時に、給食を食べ美味しかった。

自分が子供の時は、好き嫌いが多かったので、給食が美味しくなかったイメージだったが、温かいし美味しいなと思った。

<事務局>

美味しい給食を提供していると考えているが、中学生の女子になると、ダイエットとかで残菜率が高くなっている。

残菜率が0%の小学校もある。10%を超える小学校もある。1人分の量は同じだが、学校により差がある。

<副委員長>

我々の時代は、あまり給食は美味しくなかった印象がある。

<教育長>

食器も割れにくい磁器になり、暖かい給食が提供されている。

先ほど委員からあった米飯給食が導入された当時、私も学校で給食を食べていたが、発砲スチロールの食器にビニールで蓋がしてあり、先割れスプーンで冷たいものを食べていた。あの時代の美味しいとは違うと思う。県教委から学校現場に戻ったら暖かいし、食器も色鮮やかになっており豹変した。今の給食は40年前の給食とは、変わった。

給食の効果は大きく、様々な子どもたちが学校に来ている中で、給食だけを楽しみにくる児童・生徒もいる。

残す子どもや足りない子どもがいて、給食についてはその辺の課題がある。

<副委員長>

直営であるメリット・デメリット。委託であるメリット・デメリットといったものを表にするなどして示していただきたい。

また、委託するとコストが下がるといった面だけでなく、委託すればこんなプラス面があるといったことも示していただきたい。

<事務局>

議論を聞いている中で、次回9月の2回目の検討委員会開催時に、給食を食べていただいていると思うがどうか。

時間的には、午前中に集まっただき給食を食べていただくことになる。そうなれば次回開催場所は給食センターでとなるがそれでもよいか。

施設見学や10時頃なら調理業務も見学も可能となる。

<委員長>

ご飯が外部委託だが温かいのを食べられるのか。

<事務局>

炊き立ての状態ではないが、ご飯専用の保温食缶で提供する。

<委員長>

アンケートについての意見は沢山だしていただいた。

特に、問4、問5に関しては、安心安全の観点やいろんな面から検討する余地があるかと思う。

西脇市の給食は美味しい給食を提供していると、自信を持っているといったお話もお聞きした。

次回、給食を食べながら意見がもっと出てくるかと思うのでこの件については、終わりたいと思う。

(4) その他

<委員長>

それでは(4)その他、何かあるか。

<事務局>

託児サービスの希望については、一週間前に御連絡いただければできるだけ対応はさせていただきます。

ただ、給食センター内では、安全・衛生の面からお預かりすることは難しく、違う場所での託児になるので御理解頂きたい。

<委員長>

私ごとだが、完全給食は小学6年生の時だった。

食べるもの、美味しいものがない時代だったので、かぶりついて食べた記憶がある。1年間だけではあったが、給食は良いものだった。

今後、運営方式について本格的に検討してまいりたいと思うので委員の皆さんよろしく願います。

これで本日の議事は、終了する。それでは、事務局にお返しする。

9 その他

<事務局>

次回開催予定は、9月5日(水)、午前10時から給食センター2階の会議室を提案する。

給食を食べていただき、12時過ぎに解散という形にさせていただきたい。

また、アンケートは、次回開催より事前に委員さん方に見ていただき、ある程度の決定を出したいと思っている。

10 閉 会

（教育部長あいさつ）